

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた今後の協会活動方針への意見確認結果一覧

「2020年9月12～22日 通常総会メール開催」

項目	意見
土曜練習や協会活動再開について	再開要望があるのならば、感染予防をしながら毎週でなくても、月に数回でも計画できる方法を検討しても良いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年6/22-27のメール審議の各委員会意見要望についてあげられた項目について検討が必要。 ・活動再開には感染発生時に備えた対応が準備出来ていることが条件になるのではないかと。感染発生してから対応を考える様では後手に廻ってしまう。再開でどのようなリスクがあり、どのような対応が必要か事前に発生時の手順について模擬実験が必要と思います。 ・競技委員会でも述べている、感染発生時のリスクや責任の所在等について明確にする必要がある。 ・再開についてはリスクを避けて通ることは出来ないが、自己責任で不安を会員に押しつけることなく、納得出来るような形で再開する方法を見つけ出す必要がある。今までのような協会練習とは全く違った形での活動方法も考えなければならないと思う。（例として、チームやサークル単位の小集団での活動など） ・県をまたいだ移動規制は解除されているが、日常生活において、医療機関受診や対面を伴うサービスにおいて、県をまたぐ移動後2週間以内の利用自粛願などの制約が残っている場面もあります。再開にあたっては、県内居住者だけでなく県外居住の会員の方々への配慮を考えた対応が必要と考えます。活動再開している部分もある反面、活動休止の続いている場面もあります。どんな場面でどのような判断を行っているか参考に情報収集してはいかがでしょうか。
	再開を希望します。19:30以降の個人利用に関してですが協会の練習時間か19:30なので、個人利用は19:45からのほうが協会練習が最後までしっかりできるかなと思いました。
	新型コロナウイルスの収束目処が立たない中、土曜練習や協会活動の再開は当面見送るべき。
	10月からは、無理だと思えますので11月頃から、始めたらどうでしょうか。再開することにより、感染やクラスターが発生することにもなりかねないところが、懸念されます。しかし再開が遅れると会員数減少も考えられますので、再開を考えてもいいと思います。
	まだ再開すべきではないと思います。ただ、現状を考えると再開可能とする基準をはっきりさせることも難しいと感じています。
	協会練習の早期再開を望みます。
	このコロナの状況でなかなか思うように練習ができないのはとても残念です。一刻も早くまた練習再開できて楽しめれば良いなと思っています。
	アイスアリーナの感染対策に従ったうえで、再開してもいいと思います。
	JCAフェーズ5へ移行にて再開がいいかと考えます。主催大会については他県が開催見送りをしている現状や、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、今年度については開催見送り、次年度以降検討がいいと思います。
協会費について	私個人的には、職場の決め事によって参加できない状態が続いております。よって、今日現在ではありますが再開されても参加できません。ただ、一定数希望が挙がるようでしたらコロナ感染予防のうえ、再開してもいいかと思えます。オープン大会は実施しない方向でいいかと思えます。
	新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言を踏まえた国の方針は経済活動とのバランスを優先する方向に転換しているため、社会活動の安全面を最優先しているとは考えにくい。また、感染クラスターを出した団体や感染者に対する社会的な排斥傾向も認められる。個人的には治療法が確立されるか、季節性インフルエンザと同等の扱いにならない限り難しいと考える。
	昨年度の活動が停止して以降については、継続しない方への配慮が必要では。精算など。
	今年度分は例年通り頂きたい。理由として
	① 新型コロナウイルスの影響で協賛金が集まりにくい
	② JCA 会費は例年通り納付しなければならない、県協会は練習やイベントを休止せざるを得なかったがコロナ禍の中で動いていた
	③ 前年度収支報告書を見ると協賛金収入を仮に0とした場合若干のプラスの状態であり、経済が元に戻りまで楽観できない
	④ ある程度の繰越金は不要不急の為に確保しておきたい 会員の皆様から引き下げ要請があった場合、上記の事を踏まえて協議して頂きたい
	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年毎年会計での繰り越し金額が膨らんできている。会費については2020年6/22-27のメール審議で総務委員会からも報告している見直しの意見を検討ねがいます。（以下メール審議での意見） ・協会費の協会練習への投入については、協会練習参加が任意である以上練習会費の参加者の負担と協会費からの補填のバランスを見直すのではないかと。 ・競技をするために協会登録をして、個別に練習をしている方は、協会練習参加費の協会補填のような還元がほとんど（というか全く）ない。 ・コロナ禍の影響で収入への影響のある方も多いと思う。休止期間で費用も減っていない分、協会費の減額や次年度の会費見直しも必要では無いか。
	収支に見合った金額であれば問題ないと思います。
次年度事業計画が立てられない中、チケットについては早期に払戻しすべきと思料致します。お手数ですがご検討よろしくお願い致します。	
一般競技者登録費用が昨年12,000円だったのに対し、今年は6,000円になっているのは何故ですか？	
協会費については、今年度の再開がいつ始まるかによって変わってくると思いますので、再開した時点で検討したらどうでしょうか。	
審議の中にもあったように、年会費減額が一番平等な方法かと思えます。	
議長一任します	
活動できなかった期間分の協会費は返金、もしくは次シーズンの協会費をその分安くしていただけると助かります。	
私個人的には、返金要望などはありません。コロナ明けに有効活用して頂きたいです。ただいろいろな意見が出るのは必至だと感じていますので、柔軟に対応頂きたいです。	
必要な協会活動費は請求していただきたい。また、イベントや練習が再開されるのであれば、これまで通り納入でよいと思います。	

その他	<ul style="list-style-type: none"> 新潟オープン大会について オープン大会としていながらも出場チームについて、選手権出場チーム優先するとの文言で敷居を設けているのは大会趣旨から逸脱しているように思う。過去の柏崎オープンや、新潟オープン第1回大会の頃とは大会の様子が変わってきているように感じる。なかなか出場しにくい大会になってしまったように思う。 笹団子カップについて 新潟オープン大会に出場が出来なかったチームの救済も兼ねていたと考えているがいかがだったでしょうか。参加募集も先着順でタッチの差で漏れたチームもありますが、近年は先着順での募集はこういった不満もあることから、期間を設けて募集し抽選するように手順を変更している所もあります。また、新潟オープンに漏れたチーム救済であれば、県内チームを優先しても良いのではないのでしょうか。 協会組織について 今季は役員の変更は無しのことですが、各委員会における人員の補充等については、必要に応じ随時補充という理解でよろしいか。 あげられた意見・提言について 多数の意見も大事ですが、少数意見に気づかされる事もあります。少数意見であっても、それは誰も気づかなかった事であるかもしれません。意見、提言については、意図や背景について十分に精査して検討して欲しいと思います。
	理事の皆さま、ご苦労さまです。コロナ禍でいろいろな問題があり、取りまとめるのも大変なこととお察しいたします。新潟県カーリング協会が、未来に向かってより良く進んでくれるよう願っています。私が協力できることがあれば手伝います。いつでもご連絡下さい。
	会員増について 第2号議案でも述べましたが、会員減に強い危機感があります。会員皆で知恵を出し合って会員増やしましょう。
	協会がない県のカーリング愛好者の登録を8/31日以降でも可能であれば、受入れてあげて欲しい。”